記　者　発　表

令和５年１０月３日
東北土木技術人材育成協議会

災害から東北を守る

～ 遠隔操作式バックホウの操縦者を育成 ～

東北土木技術人材育成協議会では、遠隔操作式の建設機械に対応できる操縦者の育成を図るため、「基礎技術講習会（遠隔操作式バックホウ）」を開催します。講習会では東北地方整備局に導入されている操縦装置（ロボ QS）などを使用して、離れた場所からリモコンで掘削作業等の操作を行います。

■開催日時及び参加者

・令和５年１０月１１日(水)：山形県内建設業者　１０：３０～１６：００
・令和５年１０月１２日(木)：青森県内建設業者　１０：３０～１６：００
・令和５年１０月１８日(水)：福島県内建設業者　１０：３０～１６：００
・令和５年１０月１９日(木)：岩手県内建設業者　１０：３０～１６：００
・令和５年１１月　７日(火)：秋田県内建設業者　１０：３０～１６：００
・令和５年１１月　９日(木)：宮城県内建設業者　１０：３０～１６：００

① 国交省と災害協定を締結している東北建設業協会連合会から推薦していただいた建設機械オペレーター２４名が参加予定です。
② 講習会は各県毎に計６回開催し、上記日時において報道機関に公開します。
なお、災害対応や当日の天候により、講習を延期又は中止させて頂く場合があります。
③ 取材を希望される方は、取材申込書（別紙―１）に必要事項を記載のうえ、メールにてお申込み下さい。

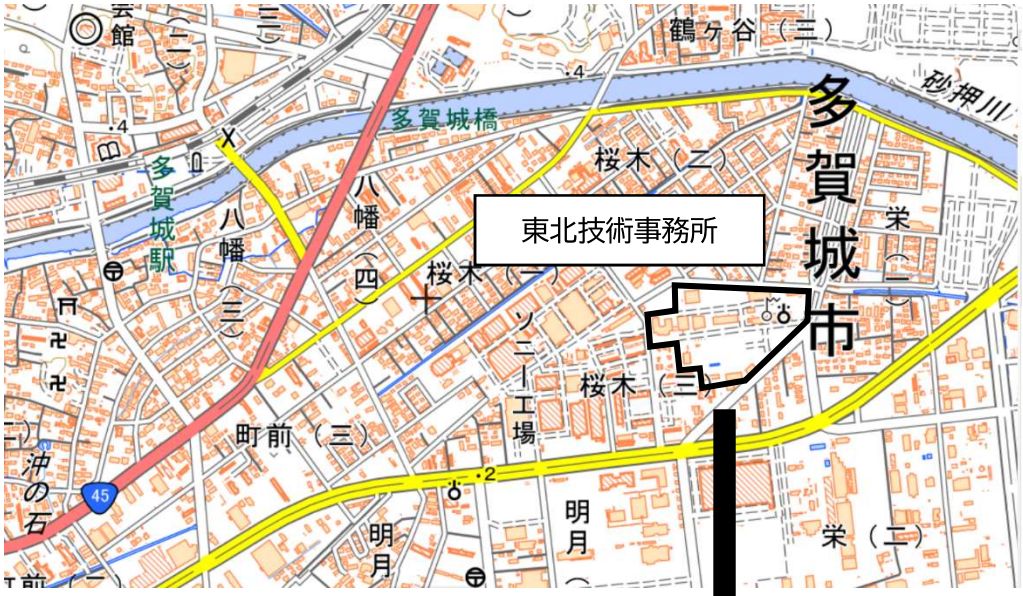
■場所：東北技術事務所構内

■内容：遠隔操作式バックホウを使用した掘削作業及び大型土のう設置作業
（東北地方整備局が保有しているバックホウ２台を使用）

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

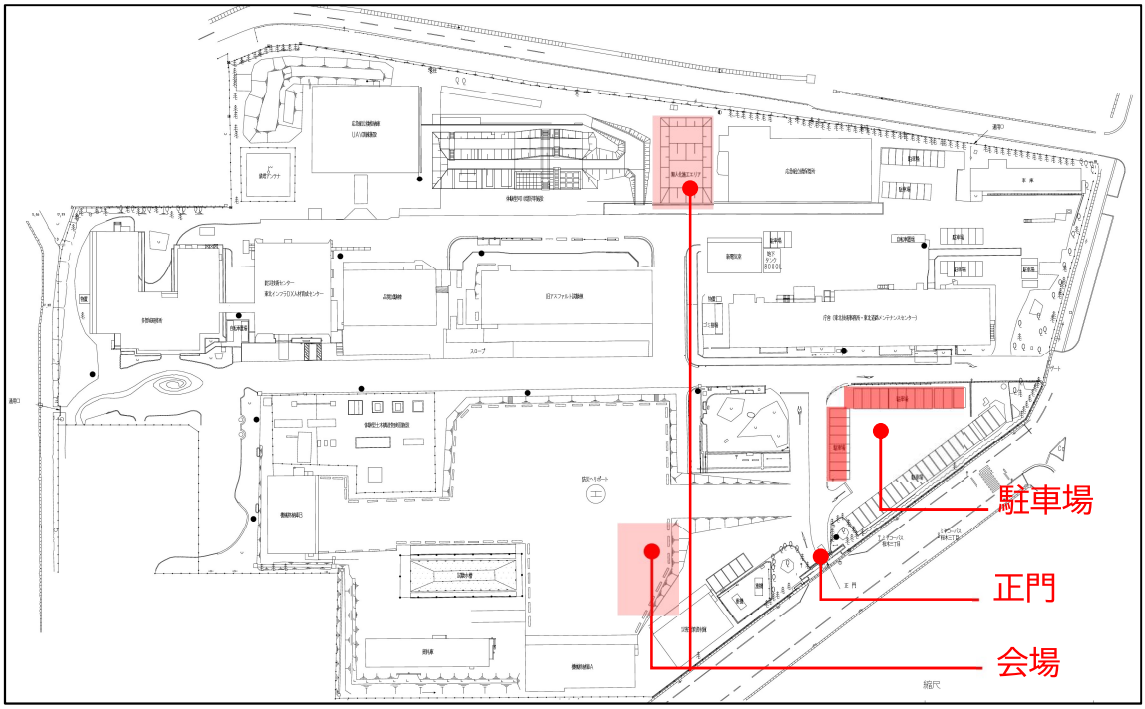
問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局東北技術事務所
住所：多賀城市桜木三丁目６－１
電話：０２２－３６５－８２１１（代表）
副所長（機械）　澤田（さわだ）　敏樹（としき）　（内線：２０５）
防災・技術課長　長倉（ながくら）　和行（かずゆき）　（内線：３３１）

会場



※国土地理院地図に事務所位置を記載して掲載

（東北技術事務所構内図）



別紙－１

（送付先）
国土交通省 東北地方整備局
東北技術事務所 防災・技術課 長倉 あて
E-mail:nagakura-k82ac@mlit.go.jp

基礎技術講習会（遠隔操作式バックホウ）
取材申込書

取材を希望する場合は、本様式に必要事項を記入のうえ、上記送付先までメールにてお申し込み下さい。なお、申し込みの締め切りは各講習会の前日（土日除く）１７時までとなります。

所属記者会（所属する記者会に☑をつけて下さい。）		
□宮城県政記者会　□東北電力記者会　□東北建設専門紙記者会　□その他		
会社名及び部署名		
取材者（役職・氏名・連絡先）※参加者全員分を記入		
①参加者（代表者）	役職	氏名
②参加者	役職	氏名
③参加者	役職	氏名
連絡先	（代表者の連絡先）	
	TEL：	

上記のとおり、取材を申し込みます。

＜注意事項＞
・取材にあたっては、担当者の指示に従って頂くようお願い致します。

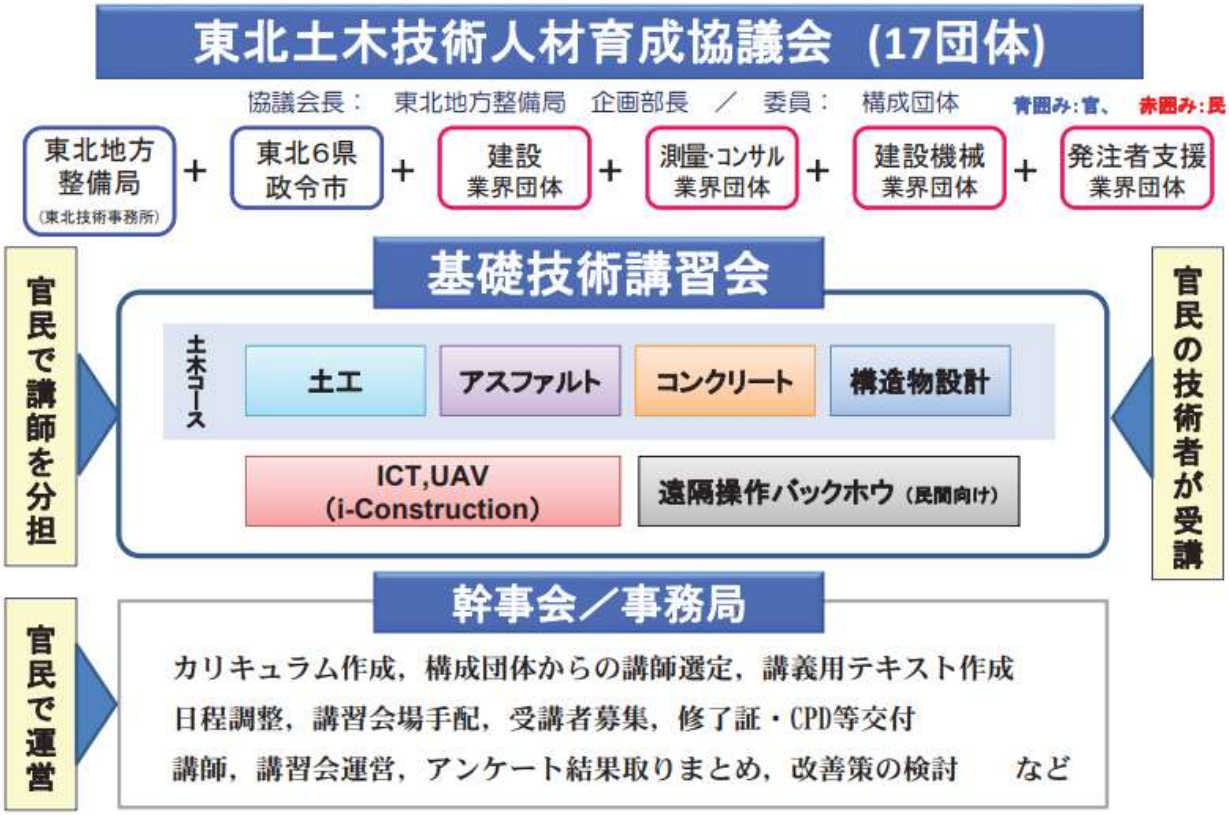
東北土木技術人材育成協議会とは

・国土交通省、東北６県、仙台市、建設関連団体で構成する官民共同組織。

・建設業界で深刻な課題となっている技術者の担い手不足や技術の伝承などを解決することを目的に各種基礎技術講習会を定期的に実施。

＜ 参加団体 ＞

国土交通省東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、(一社)日本建設業連合会東北支部、東北建設業協会連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、(一社)東北地質調査業協会、(一社)日本道路建設業協会東北支部、(一社)東北建設マネジメント技術協会、(一社)東北地域づくり協会

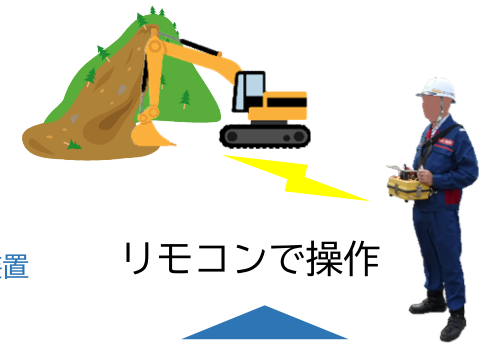


※土木コース、ICT・UAV講習会の開催については、別途、記者発表しております。

簡易遠隔操縦装置（ロボQS）とは

　ロボQSは遠隔操作出来ない既存のバックホウに装置を取付けることで、ラジコンのように遠隔操縦可能とする災害対策用機械です。作業員が立ち入れない危険な現場において、作業員の安全を確保しながら応急復旧作業を行うことができます。

※ロボＱＳは国交省九州技術事務所と(株)フジタ、(株)IHIが共同開発した装置





▲通常のバックホウ



▲ロボSQ取付け部品



▲ロボQS取付け後

Ｒ４講習会　開催状況



▲大型土のう設置作業（モニターでの操作）



▲遠隔操作室



▲掘削作業（目視での操作）